

伸びる vs 伸びない

地雷系の NG パターン

成長する介護職の共通点



どんな働き方をしたいですか？



- A. 家族との時間も大切にしたい
- B. 社会や地域福祉に貢献したい
- C. お客さまに「ありがとう」と言われたい
- D. 仲間と良い関係で働きたい
- E. 休みの日は“推し活”を楽しみたい

仕事のモチベーションは人それぞれだが、共通点がる

それは「感情」

仕事の目的には
自分の感情＝“こうありたい”という願いが必ずある

まずは「仕事の目的は、自分が望む感情を満たすこと」と整理しておきましょう

思うように仕事ができないのはなぜ？



- A. お客様やケアマネから 仕事以外の要望をされる
- B. 自分の知識・能力がまだ足りない
- C. 家族の事情に振り回される

これらに共通しているのは

「解決のための手段に感情は必要ない」

という点です

手段に感情はいらない理由

「感情」と「理性」を上手に使い分けよう！



仕事の目的は感情で OK



目的達成の手段は理性で

目的(望む感情)と、目的を実現する手段は別物

手段に感情を持ち込むと 判断が鈍り、問題が複雑になる

右の例で確認してみよう

a. お客様やケアマネが仕事以外のことを要求する

→ 正しい対応: 「できません」と断る

× よくある失敗: 断る勇気が出ず、上司に相談できず、一人で悩む

b. 自分に知識・能力が足りない

→ 正しい対応: 必要なことを学ぶ・訓練する

× よくある失敗: やる気が出るまで待ち続け、自己嫌悪へ

c. 家族に振り回される

→ 正しい対応: 仕事を引き継ぎ、必要な対応を冷静に済ませる

例: 学校から呼び出されたら行く、病院に連れていく 等

× よくある失敗: 済んだことを悩み続け、必要以上に休んでしまう

問題の解決に必要なのは「行動」感情は持ち込まない

仕事の目的は“感情” 目的を叶えるための手段は“理性”で行う
シンプルにこれだけです

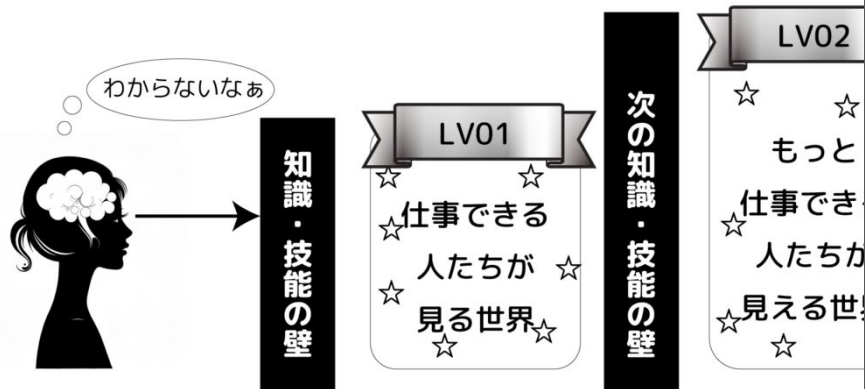
仕事に立ちはだかる「壁」

成長しにくい人の特徴

「臆病」「そのくせ頑固」「めんどくさがり」 などなど

共通点は「感情に左右される」 ”視点が低い” こと

勉強・訓練不足の人はずっと成長できない

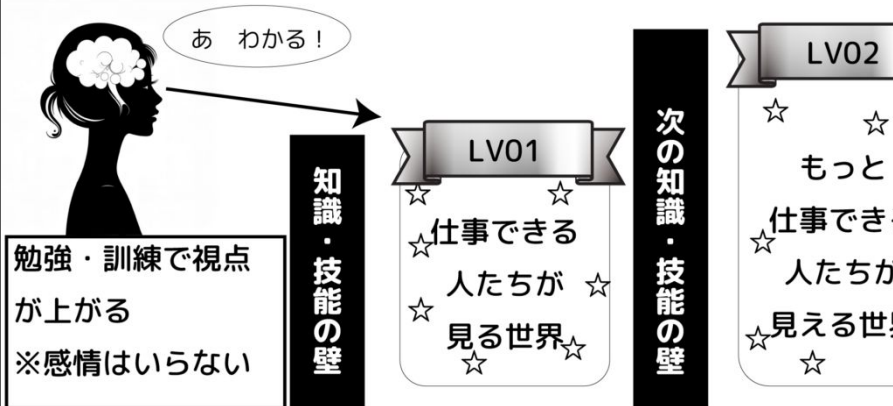


壁を乗り越える方法

視点が低いなら 視点を上げればいい

視点は行動 「勉強」と「訓練」でしか上がらない

成長とは勉強・訓練で視点を上げること！



具体的に何すればいいの？

ヘルパーがすべき研鑽

結論:感情は脇に置き、淡々と取り組むだけ

1. 自分の単価を意識
2. 会社の勉強会の内容を理解
3. 訪問介護計画書・基本情報を読み込む
4. どんなお客さまの所でも、まずは行ってみる
5. スマホ操作を覚える
6. 分からないことは質問

どれも難しいものではありません

多くのヘルパーに不足しているのは、まずは「コスト意識」です
訪問1回で会社にいくら貢献したのか？ 給与との関係はどうか？
これを理解していれば、ブラック企業にはつかまりません

サ責がすべき研鑽

1. 会社の売上を意識
2. 赤本・青本を理解(ケアマネ以上に詳しく)
3. ケアプランの流れを理解
4. メール, LINE, PDF, Excel, ブラウザ, AI...PC基本操作
5. チーム運営を学ぶ
6. 分からないことは「調べ方」を学ぶ

赤本・青本の理解は必須
ケアプランの流れを理解すれば整理しやすい
PCスキルは独学で十分身
覚えられない人は、能力ではなく「やっていないだけ」

答えだけ他人に聞いても身につきません
“どこに書いてあるか” “どう調べるか”を学ぶことが、成長の近道

こんな人は上達しません

NGのお客様・ケアマネがいる

「人間だから合う・合わないがあるよね～」は感情 単なる言い訳です 仕事なんだから 感情は不要です

介護のプロなんですから どんなお客さんやケアマネとも仕事できるようにしましょう 嫌なお客さまがいても 家族じゃないんだから 訪問の1時間だけ「仕事」しましょう

「自分のお客さま」だと思う

感情移入しすぎると 業務を超えた関わりになりがちです 私たちは仕事として関わっているのであり 家族ではありません

会社で言われたことをしない

個人的なつきあいに感情を使うのに、学習だけはやらない——
これは成長しません

家族に振り回される

重症の場合は最優先でOK
だけど軽度な用事で仕事を大きく乱されるのは 冷静さを欠いた状態です
家族に適切に対応できない人は お客さまにも冷静に対応できません

自力で成長するために



仕事の目的は「自分の感情」で良い
けれど目的を実現する手段には感情を入れない

だから

「勉強」「訓練」「売上の理解」「基本書類の読解」「スマホPC操作」
これらを淡々と実行すれば、視点は必ず上がります

視点が上がれば、知識と技能の壁を越え
自力で成長できるようになります

その基礎づくりを、今日から始めていきましょう